

教育に関する事務の管理及び執行状況 の点検及び評価に関する報告書

対象年度 平成19年度

平成21年2月

和歌山市教育委員会

—目 次—

I	はじめに	1
1	教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価の実施について	1
2	点検及び評価の実施方法について	1
II	平成19年度教育委員会の活動状況	4
1	平成19年度教育行政方針	4
2	教育委員	5
3	教育委員会議の開催状況	5
4	教育委員会議決案件	6
5	教育委員会議以外の主な活動状況	8
6	教育委員会の活動状況の評価	8
III	点検及び評価	9
1	学校教育の充実	9
①	学校の教育力の充実	
②	幼児教育の充実	
③	小・中学校教育の充実	
④	特別支援教育の充実	
⑤	健康教育の充実	
⑥	高校教育・高等教育の充実	
2	青少年の健全育成	13
①	青少年の健全育成	
3	生涯学習の推進	13
①	生涯学習の推進	
4	文化・スポーツの振興	14
①	文化遺産の保護・継承	
②	芸術・文化の振興	
③	生涯スポーツの振興	
5	行政評価（参考）	17
IV	その他	22
1	教育委員会の組織	22
2	教育費決算額	23
①	平成19年度教育費決算額内訳	
②	教育費決算額の推移	

I はじめに

1 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価の実施について

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正され、「教育委員会の責任体制の明確化」を目的として、同法第27条に「教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価等」が規定されました。

この規定により、平成20年4月から、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することが定められました。

2 点検及び評価の実施方法について

平成20年度に実施する点検及び評価は、平成19年度事業を対象とし、「子どもが輝き、文化が薫る教育のまち」の実現に向け取り組んでいる4項目の政策及び11項目の施策（別記①）を推進する事業を整理し、決算及び施策の成果等をまとめるものとします。また、国の考えとして、既に他の方法で点検及び評価を行っている場合は、その手法を活用することも可能であるとしていますので、公表等に際しては、市民に対する行政の説明責任を果たし、よりよい行政サービスを行うことを目的に実施されている和歌山市行政評価システム（別記②）を活用するものとします。

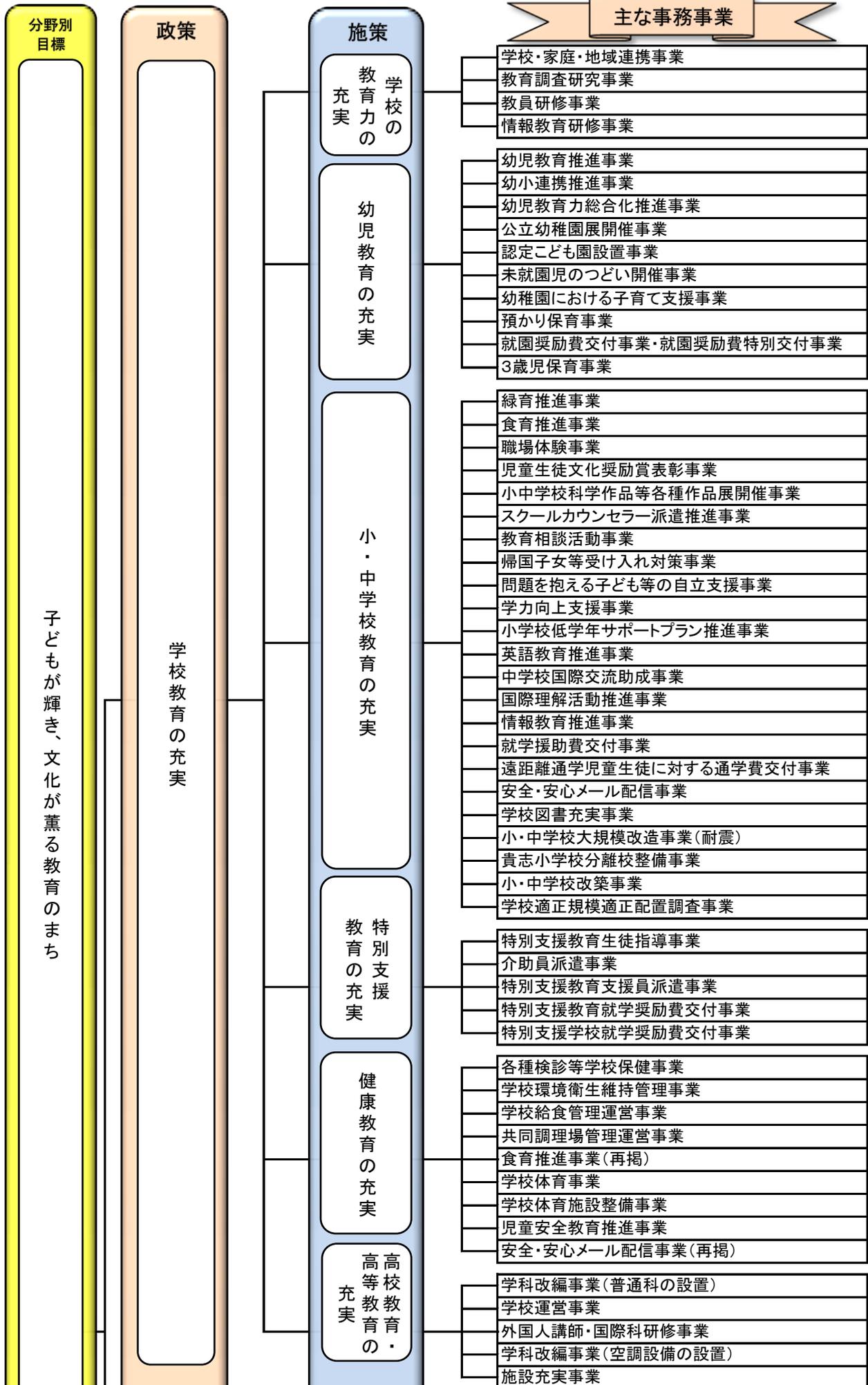
別記①

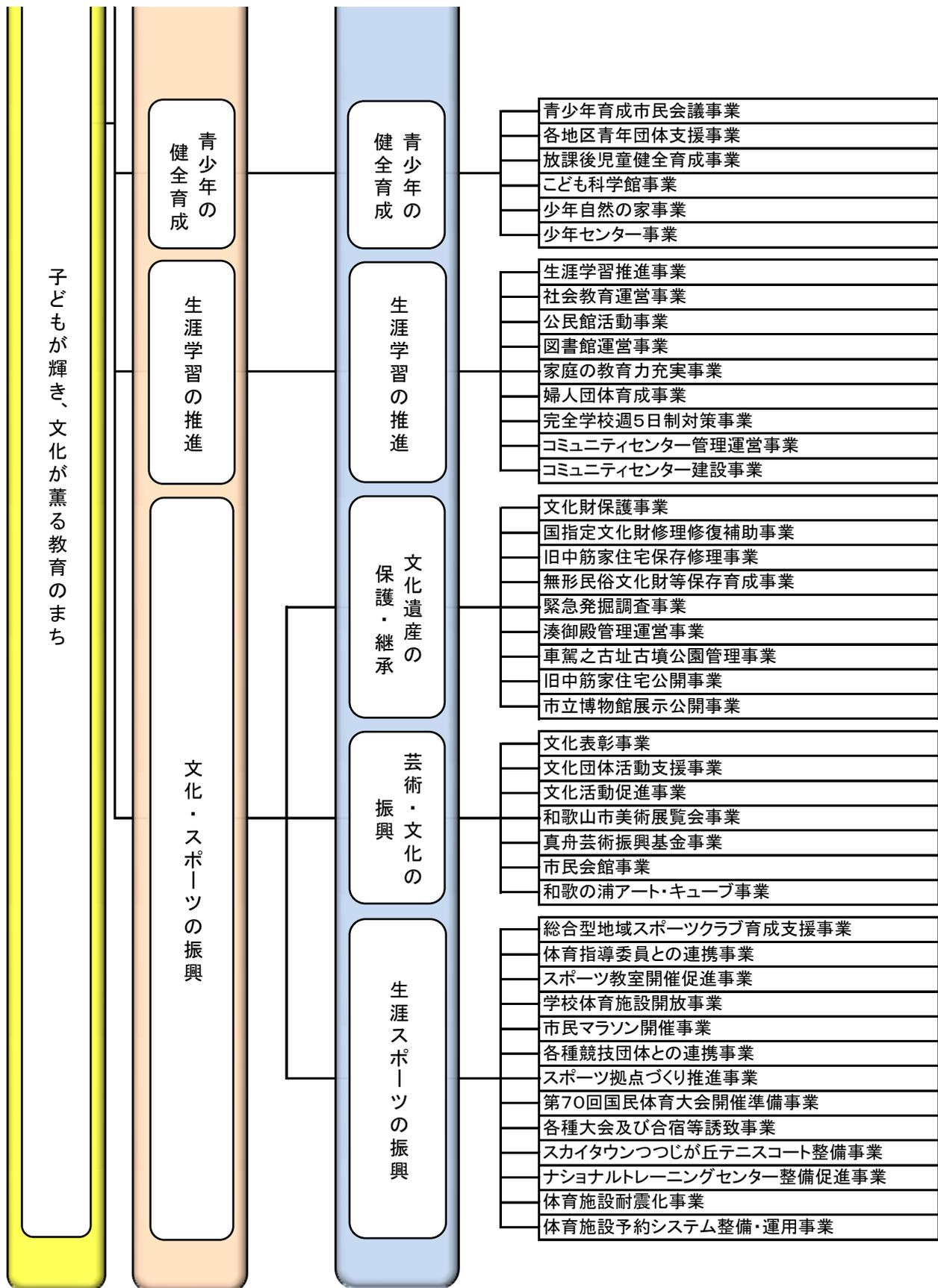
別表 和歌山市教育委員会施策体系のとおり（P2～3）

別記②

和歌山市行政評価は和歌山市ホームページで公開しています。

http://www.city.wakayama.wakayama.jp/menu_1/gyousei/hyouka/index.html





※ この施策体系は、平成20年度に策定中の第4次和歌山市長期総合計画に基づき作成しました。

Ⅱ 平成19年度教育委員会の活動状況

1 平成19年度教育行政方針

－ 21世紀を創造する人づくりを目指して－

社会の変化に主体的に対応し、自然と歴史、文化を愛するとともに、たくましく生きる人間性豊かで視野の広い市民を育成する。

基本方針

- 1 社会の変化に対応し、たくましく生きる力をはぐくむ学校教育の創造
- 2 人格形成の基礎となる家庭教育、地域文化の基盤となる社会教育の創造
- 3 生涯にわたり自己実現を図る生涯学習の振興
- 4 心身の健康維持増進とスポーツの振興
- 5 文化の振興と文化財の保護・活用
- 6 平和で人権を尊重する社会を築くための教育の充実
- 7 多様なニーズに対応する教育施設の充実

2 教育委員

役職名	氏名	就任年月日	任期
委員長	なかむら ひろし 中村 裕	平成16年 7月 4日	平成20年10月 1日～平成24年 9月30日
委員長職務代行者	みやざき きょうこ 宮崎 恭子	平成14年12月28日	平成18年12月28日～平成22年12月27日
委員	むろ みどり 室 みどり	平成11年 3月29日	平成19年 3月29日～平成23年 3月28日
委員	なかさこ ひろし 中迫 廣	平成17年10月22日	平成17年10月22日～平成21年10月21日
委員（教育長）	おおえ よしゆき 大江 嘉幸	平成19年 8月 1日	平成20年10月 1日～平成24年 9月30日
前委員（前教育長）	そら みつあき 空 光昭	平成16年 7月 4日	平成16年10月1日～平成19年 7月31日

3 教育委員会議の開催状況

月日	議案	報告	案件	月日	議案	報告	案件
4月 5日	1	4	0	10月 9日	2	3	0
5月 9日	5	3	0	11月 1日	2	3	0
6月 7日	4	1	0	12月27日	6	5	0
6月18日	1	0	0	1月10日	4	0	0
7月12日	6	1	0	2月14日	5	0	0
8月 1日	1	0	0	3月 7日	5	0	0
8月 9日	3	3	0	3月13日	5	0	0
9月 5日	1	1	2				
計				15回	51件	24件	2件

4 教育委員会議決案件

4月 5日	人事案件について
5月 9日	和歌山市指定文化財湊御殿条例施行規則の一部改正について
	和歌山市指定文化財の指定について
	公立中学校夜間学級について
	小・中学校 8校の地震補強工事及び改築工事について
	市立和歌山商業高等学校における平成20年度使用教科書採択について
6月 7日	平成19年度6月補正予算要求見積書(案)について
	和歌山市民図書館協議会委員の任命について
	和歌山市立博物館協議会委員の任命について
	公立中学校夜間学級について
6月18日	人事案件(教育長の辞職)について
7月12日	和歌山市立学校管理規則の一部を改正する規則について
	社会教育委員の委嘱について
	和歌山市立博物館協議会委員の任命について
	和歌山市民図書館協議会委員の任命について
	平成20年度和歌山市立和歌山商業高等学校使用教科書採択について
	人事案件について
8月 1日	教育長の任命について
8月 9日	和歌山市立小学校及び中学校通学区域並びに学校指定に関する規則の一部を改正する規則について
	人事案件について
	人事案件について
9月 5日	平成19年度9月補正予算要求見積書(案)について
10月 9日	平成20年度和歌山市立和歌山商業高等学校募集定員及び入学者選抜実施要項について
	平成19年度教育功労者表彰について
11月 1日	平成19年度12月補正予算要求見積書(案)について
	和歌山市立学校条例の一部改正について

12月27日	「和歌山市立学校園教育実習取扱要綱」及び平成20年度和歌山市立学校園における教育実習希望者の受入れについて
	和歌山市立幼稚園保育料の免除措置に関する規程について
	和歌山市教育委員会職員の勤務時間等の特例に関する規則の一部改正について
	和歌山市教育委員会教育系職員の職の格付に関する規則の一部改正について
	平成19年度末教職員人事異動に関する方針について
1月10日	人事案件について
	和歌山市立学校条例の一部改正について
	平成19年度2月補正予算要求見積書（案）について
	平成20年度当初予算要求見積書（案）について
2月14日	和歌山市児童生徒文化奨励賞の受賞者について
	学校評価について
	和歌山市立少年自然の家条例施行規則の一部改正について
	和歌山市民会館条例施行規則の一部改正について
	和歌山市民図書館協議会委員の任命について
3月7日	和歌山市立学校条例の一部改正について
	学力等向上推進事業について
	平成20年度和歌山市学校教育指針について
	和歌山市教育委員会平成20年度教育行政方針（案）について
	平成20・21年度体育指導委員の委嘱について
3月13日	平成19年度末教職員人事異動について
	和歌山市教育委員会教育長に対する事務委任規則の一部改正について
	和歌山市教育委員会事務局組織規則の一部改正について
	和歌山市教育委員会職員の勤務時間等の特例に関する規則の一部改正について
	平成19年度末退職校園長に対する感謝状授与式について
	平成19年度末教職員人事異動について

5 教育委員会議以外の主な活動状況

実施日	訪問先・参加行事	内 容
6月 1日	県市町村教育委員会連絡協議会 定期総会への参加	総会及び講演会
6月 7日	紀之川中学校・子ども支援センター	テーマ「不登校について」
8月30日 ～31日	県市町村教育委員会連絡協議会 夏季研修会への参加	情報交換会（分科会）及び講演会
10月 9日	市長との教育懇談会	教育についての意見交換
10月12日	近畿市町村教育委員会連合会 研究大会への参加	基調報告及び講演会
10月17日	松江小学校	学校視察（道徳教育）
11月 1日	市教育功労者表彰	式典への参加
	移動教育委員会	定例会を城北小学校で開催
11月 9日	市文化表彰	式典への参加
11月14日	鳴滝小学校	学校視察（道徳教育）
2月 5日	市長との教育懇談会	教育についての意見交換
2月17日	県市町村対抗ジュニア駅伝 競走大会	式典等への参加
2月20日	市児童生徒文化奨励賞表彰	式典への参加
3月11日	中学校卒業式	式典への参加
3月19日	小学校卒業式	式典への参加

委員長	市議会への出席のほか関係各種会議への出席 全国市町村教育委員会連合会会長に就任（平成19年 5月25日）
-----	---

6 教育委員会の活動状況の評価

【評価】

定例及び臨時の教育委員会会議の開催や子ども達の学習状況・研究授業の取り組みなど教育現場の状況を把握するための学校視察を行うとともに、各協議会への参加など委員の研修の機会を積極的に取り入れています。また、さまざまな行事、式典への出席など、多岐に渡り活発に活動を行っています。

【今後の取り組み】

平成19年度は、より多くの市民に教育委員会活動を知っていただくため、小学校において移動教育委員会の開催をおこないましたが、今後も引続き開かれた教育行政を目指し、小・中学校やコミュニティセンターなどにおいて教育委員会を開催し、市民の傍聴の機会を増やしていきます。また、学校等への視察、教職員との意見交換を行い、市民や教育現場の意見を十分に反映させるとともに、委員の研修機会の充実を図っていきます。

Ⅲ 点検及び評価（和歌山市教育委員会施策体系に基づき平成19年度に実施した事業の点検及び評価を行いました。）

分野別 目標	政策	施策	主な事務事業	担当課	点検・評価 (決算額(千円単位)、成果及び内容)
子どもが輝き、文化が薫る教育のまち	1 学校教育の充実	① 学校の教育力の充実	学校・家庭・地域連携事業	教職員課	0円 中学校学校評議員研修会を開催し、外部から講師を招き研修を深めた。また、平成20年度から実施予定の学校評価制度の実施マニュアル等の作成を行った。
			教育調査研究事業	学校教育課	1, 102千円 教科・領域や新しい教育課題を研究することにより、学習指導の充実並びに教員の資質向上を図った。
			教員研修事業	教育研究所	3, 126千円 教員の資質・スキルアップ向上を目指し、専門研修会等を118回開催した。
			情報教育研修事業	教育研究所	2, 008千円 情報教育推進教員の育成のため、各種情報教育研修会等を86回開催した。
		② 幼児教育の充実	幼児教育推進事業	学校教育課	0円 幼稚園教育研究会を設置し、年間4回の会議を開催した。 3歳・4歳・5歳の各部会で年間2回の研究保育を実施した。 研究のまとめを作成した。
			幼小連携推進事業	学校教育課	0円 幼稚園児と小学校児童の交流会 14回 教育課程の編成の連携 3回 教師同士の交流 15回を実施した。
			幼児教育力総合化推進事業	学校教育課	0円 保護者の保育参加 84回 子育て井戸端会議 173回 父親の保育参加 5回を実施した。
			公立幼稚園展開催事業	学校教育課	147千円 13園の全園児の作品を展示した。 場所 市民会館展示室 会期 H19.10.26~10.30
			認定こども園設置事業	教職員課	平成20年度以降実施予定。
			未就園児のつどい開催事業	学校教育課	0円 未就園児とその保護者の学びや育ちを支える子育て支援の場を提供。 13園で年間延べ117回開催した。
			幼稚園における子育て支援事業	学校教育課	0円 未就園児のつどいの開催時に子育て相談を実施した。 延べ48回 子育て講演会延べ54回 園庭12舎の開放1,424回
			預かり保育事業	教職員課	平成20年度以降実施予定。
			就園奨励費交付事業・就園奨励費特別交付事業	学校教育課	253,306千円 就園奨励費交付金を交付することにより、幼稚園教育が円滑に行われ、子育て支援の充実に貢献した。
			3歳児保育事業	教職員課	7,549千円 公立幼稚園12園で実施。補助6人（3歳児補助）を配置した。

1 学校教育の充実

③ 小・中学校 教育の 充実	緑育推進事業	学校教育課	323千円 現場での体験学習を実施することにより、生きる力を育み、豊かな人間性を育てることに貢献した。
	食育推進事業	保健給食管理課 学校教育課	51千円 有功小学校を「食と健康」の研究指定校とし、研究発表会等を通じて市内の各学校（園）への成果の普及を図った。JA等関係機関との連携による学校における食育推進を図った。
	職場体験事業	学校教育課	平成20年度以降実施予定。
	児童生徒文化奨励 賞表彰事業	学校教育課	121千円 児童生徒の文化活動への取組を奨励することにより、情操教育を推進することができた。
	小中学校科学作品 等各種作品展開催 事業	学校教育課	1,059千円 作品等の公開を通じて、市民及び保護者の教育への関心を高めると共に、児童生徒の豊かな人間性や創造性を育む教育の推進に貢献した。
	スクールカウンセ ラー派遣推進事業	学校教育課	2,800千円 不登校になる可能性のある児童や、保健室登校の児童の対応をすることにより、心身ともに健康な児童の育成に貢献した。
	教育相談活動事業	子ども支援セ ンター	14,588千円 子ども、保護者、教職員の相談に応じることによって教育の諸問題の解決と学校教育の活性化をめざし、支援を行った。
	帰国子女等受け入 れ対策事業	子ども支援セ ンター	149千円 帰国子女や外国籍で日本語がうまく話せない児童・生徒の日本語指導をサポートすることにより、日常生活及び学校生活での学習充実等が図れた。
	問題を抱える子ども 等の自立支援事業	学校教育課	1,550千円（学校教育課） 1,000千円（子ども支援センター） 不登校生のためのふれあい教室を設置し、保護者・学校と連携を図りながら、子どもへの支援を行った。
	学力向上支援事業	学校教育課	11,568千円 巡回指導員による学習支援を実施することにより、基礎学力が充分身につけていないと思われる地域の児童生徒の学力向上に寄与した。
	小学校低学年サ ポートプラン推進事 業	教職員課	35,390千円 小学校低学年で1クラスが40人に近い学級のある学校に補助教員を配置する。
	英語教育推進事業	学校教育課	25,935千円 外国人講師とのチームティーチングを実施することにより、英語に慣れ親しむと共に、国際理解を深めることができた。
	中学校国際交流助 成事業	学校教育課	0円 隔年実施のため19年度未実施。
	国際理解活動推進 事業	学校教育課	3,934千円 小学校3校の5・6年生に対し、担任がALTを有効に活用しながら、国際的な感覚を養い、英語に慣れ親しむことに貢献した。

1 学校教育の充実

③ 小・中学校 教育の 充実	情報教育推進事業	教育総務課 教育研究所	小学校：121,209千円 中学校：68,287千円 小・中学校における学習用パーソナルコンピュータ導入及び活用に要し、情報教育の推進に貢献した。
	就学援助費交付事業	学校教育課	110,760千円 経済的理由により就学困難な児童生徒に対して、就学援助費を支給することにより、心身ともに健康な児童生徒の育成に貢献した。
	遠距離通学児童生徒に対する通学費交付事業	学校教育課	62千円 遠距離通学生徒に対し、旅客運賃相当額を交付することにより、円滑な学習の確保に資することができた。
	安全・安心メール配信事業	学校教育課	600千円 不審者等の情報を配信することにより、園児・児童・生徒の安全確保に貢献した。
	学校図書充実事業	教育総務課	小学校：19,155千円 中学校：9,631千円 標準冊数に対する蔵書数は小学校で104.4%、中学校で106.6%を達成することができた。
	小・中学校大規模改造事業(耐震)	教育施設課	小学校：736,224千円 中学校：508,411千円 繰越 小学校：433,645千円 中学校：96,690千円 小学校8校、中学校4校の耐震補強工事を行った。
	貴志小学校分離校整備事業	教育施設課	平成20年度以降実施予定。
	小・中学校改築事業	教育施設課	294,148千円 大新小学校屋内運動場の改築工事を行った。 30,000千円 西和中学校校舎の解体工事を行った。
	学校適正規模適正配置調査事業	教育総務課	平成20年度以降実施予定。
④ 特別支援 教育の 充実	特別支援教育生徒指導事業	学校教育課	703千円 障害のある子どもに対して、効果的な指導のあり方を支援することにより、それぞれのニーズに合わせた適切な教育ができた。
	介助員派遣事業	学校教育課	10,525千円 肢体に不自由のある児童生徒に対し、移動や学習活動での介助を行うことにより、安全かつ円滑な学校生活を保障した。
	特別支援教育支援員派遣事業	学校教育課	平成20年度以降実施予定。
	特別支援教育就学奨励費交付事業	学校教育課	3,022千円 特別支援学級在級児童生徒の就学に係る保護者の経済的負担を軽減することにより、特別支援教育の振興を図れた。
	特別支援学校就学奨励費交付事業	学校教育課	675千円 特別支援学校在籍児童生徒の就学に係る保護者の経済的負担を軽減することにより、特別支援教育の振興を図れた。

1 学校教育の充実

⑤ 健康教育の充実	各種検診等学校保健事業	保健給食管理課	31,370千円 健康診断を実施し、児童生徒の健康状態を把握。保健管理や健康教育等を通して課題解決に役立てた。
	学校環境衛生維持管理事業	保健給食管理課	60,741千円 子どもたちの健康を保持増進し、学習能力の向上を図るため、プールの水質検査、貯水槽清掃及び浄化槽保守点検等、安全かつ快適な学習環境を作り上げることに努めた。
	学校給食管理運営事業	保健給食管理課	183,353千円 市立小学校44校において年間191日の給食を実施。市内産米を使用して週2.5回の米飯給食、行事食や郷土食を取り入れ、食文化の伝承に努めた。また、円滑な給食実施のために、設備等の管理充実に努めた。
	共同調理場管理運営事業	保健給食管理課	210,897千円 市立小学校8校において年間191日の給食を実施。円滑な給食実施のために、設備等の管理充実に努めた。また、第一共同調理場においては、民間委託を実施した。
	食育推進事業(再掲)	保健給食管理課 学校教育課	51千円 有功小学校を「食と健康」の研究指定校とし、研究発表会等を通じて市内の各学校(園)への成果の普及を図った。JA等関係機関との連携による学校における食育推進を図った。
	学校体育事業	体育振興課	4,533千円 夏・秋の中学校総合体育大会と小学校3競技を開催し、小中学生の体力向上に寄与した。
	学校体育施設整備事業	教育施設課	平成20年度以降実施予定。
	児童安全教育推進事業	学校教育課	2,737千円 CAPプログラムによる講習会により、子ども本人が危険から回避できるような知識や方法を学ぶことができた。
	安全・安心メール配信事業(再掲)	学校教育課	600千円 不審者等の情報を配信することにより、園児・児童・生徒の安全確保に貢献した。
⑥ 高校教育・高等教育の充実	学科改編事業(普通科の設置)	市和商	平成20年度以降実施予定。
	学校運営事業	市和商	678,144千円 学校関係職員の人件費の支出及び学校運営に必要な物品を購入した。
	外国人講師・国際科研修事業	市和商	4,496千円 外人講師を招致し、生徒の英会話能力の向上を図ることが出来た。
	学科改編事業(空調設備の設置)	市和商	4,977千円 市立和歌山商業高等学校耐震改修設計をした。
	施設充実事業	市和商	30,633千円 教材・教具の設備充実に努めた。

2 青少年の健全育成	① 青少年の健全育成	青少年育成市民会議事業	青少年課	450千円 各関係団体との連携がとれ、青少年健全育成に貢献した。
		各地区青年団体支援事業	青少年課	1,052千円 青少年の健全育成並びに青年団活動の支援に努め、青少年の育成の環境づくりに貢献した。
		放課後児童健全育成事業	青少年課	130,180千円 保護者の監護に欠ける児童の健全育成を図った。
		こども科学館事業	こども科学館	83,442千円 プラネタリウムの投影、野外・天体観察会、各種実習教室など普及事業を実施することによって青少年の健全育成のための環境整備をすることに貢献できた。
		少年自然の家事業	少年自然の家	109,736千円 施設の維持管理、設備の整備、運営等の事業を実施し、利用者が安心・安全に活動できる状態を維持した。 また、利用団体に様々な活動指導や生活指導等の支援を行うとともに、17の主催事業を実施した。
		少年センター事業	少年センター	8,140千円 少年補導委員会の運営と、委員相互の連絡調整をはかるとともに、少年非行防止及び啓発活動を行った。
3 生涯学習の推進	① 生涯学習の推進	生涯学習推進事業	生涯学習課	847千円 生涯学習の総合的かつ効果的な推進を図るために、生涯学習推進協議会を2回、生涯学習推進員研修会を1回開催した。
		社会教育運営事業	生涯学習課	409千円 市の社会教育行政を審議し、社会教育・生涯学習の振興が図れるように、社会教育委員定例会議を3回開催した。
		公民館活動事業	中央公民館	22,597千円 中央公民館では、全市学習圏の生涯学習拠点として、各種学習事業等を実施した。また、校区学習圏の中心的拠点としての、市内42地区公民館では、地域色豊かな活動が展開された。
		図書館運営事業	市民図書館	257,357千円 本館及び移動図書館における図書館サービスを効率的に行い、市民の読書活動の推進及び生涯学習を支援した。
		家庭の教育力充実事業	生涯学習課	4,347千円 0歳から3歳までの乳幼児と保護者を対象とした子育てひろばを年間90回開催した。
		婦人団体育成事業	生涯学習課	3,038千円 和歌山市婦人団体連絡協議会に対する委託料。社会の変動に対応することのできる婦人団体を育成し、明るく住みよい和歌山市の建設に資することができた。
		完全学校週5日制対策事業	生涯学習課	17,320千円 完全学校週5日制の実施に伴い、地域社会の子どもたちの休業土曜日等における自然体験や社会体験等の様々な体験活動の機会を提供した。(52小学校区にて実施)
		コミュニティセンター管理運営事業	生涯学習課	212,068千円 市民の生涯学習の拠点、地域活動の場としてのコミュニティセンター管理運営業務。コミュニティセンター自主事業41講座を開催した。

子どもが輝き、文化が薫る教育のまち

4 文化・スポーツの振興

		コミュニティセンター建設事業	生涯学習課	6,183千円 直川用地公共的施設区画に建設する複合施設の一部として、コミュニティセンター機能を併設するための基本設計を実施した。(平成19年度～23年度)
① 文化遺産の保護・継承		文化財保護事業	文化振興課	3,712千円 文化財保護委員会の開催(年1回)をはじめとし、文化財に関する説明板の設置、文化財(大谷古墳等)の適正な維持管理など文化財の保護活用を図った。
		国指定文化財修理修復補助事業	文化振興課	2,106千円 和歌山市内に存在する国指定文化財に対して4件の補助金交付を行った。 交付先 : 護国院、東照宮、養翠園、天満神社
		旧中筋家住宅保存修理事業	文化振興課	83,445千円 国の重要文化財である「旧中筋家住宅」を解体修理し、歴史的建造物の保存を図った。平成21年度末完了予定で進捗率は78.7%。
		無形民俗文化財等保存育成事業	文化振興課	60千円 無形文化財保護育成のために3団体に補助金を交付した。 交付先 : 岡崎団七踊保存会、岩倉流泳法保存会、木ノ本の獅子舞保存会
		緊急発掘調査事業	文化振興課	5,202千円 文化財保護法に基づき、埋蔵文化財包蔵地内における開発に対して80件の立会確認と11件の発掘調査により、遺跡の実態確認を行った。
		湊御殿管理運営事業	文化振興課	13,547千円 市の指定文化財である湊御殿を適正に管理運営することにより、5,155人の市民及び観光客の観覧に供した。
		車駕之古址古墳公園管理事業	文化振興課	2,579千円 県の指定文化財である車駕之古址古墳公園の維持管理のため、植栽の管理や説明板の設置を行った。
		旧中筋家住宅公開事業	文化振興課	平成21年度以降実施予定。
		市立博物館展示公開事業	博物館	12,360千円 2回の特別展「歴史のなかの鉄砲伝来」、「南海の鎮・和歌山城」の開催、祇園南海筆「枯木竹石図」等博物館資料の購入により、個性ある地域文化の推進に寄与した。
	② 芸術・文化の振興		文化表彰事業	文化振興課
		文化団体活動支援事業	文化振興課	928千円 和歌山市の文化の振興と向上のために9団体の運営活動を支援した。
		文化活動促進事業	文化振興課	9,134千円 和歌山市の文化の振興と向上のため8つの事業を開催した。 主催事業 5 支援事業 3
		和歌山市美術展覧会事業	文化振興課	3,625千円 洋画、日本画、書道、写真、調塑、工芸、いけ花の7部門の作品546点を部門別に審査し、市長賞をはじめとした6つの各賞を授与した。市民会館にて4会期に分けて展示。

4 文化・スポーツの振興

② 芸術・文化 の振興	真舟芸術振興基金 事業	文化振興課	7,180千円 真舟芸術振興基金を活用し、指導者・後継者事業、研究発表事業、芸術家派遣・招聘事業、芸術振興事業を実施した。参加者は延べ3,000人程度。
	市民会館事業	文化振興課	189,863千円 和歌山市の文化活動の拠点である市民会館の(財)和歌山市都市整備公社を指定管理者とする管理運営。施設利用者は約27万3千人。自主事業5つを開催し、延べ3,000人が参加。
	和歌の浦アート・ キューブ事業	文化振興課	53,729千円 和歌山市民の芸術活動の創造発信の拠点であるアート・キューブの管理運営。施設利用者は約67,500人。開催した3つの自主事業には、述べ1,000人程度が参加。
③ 生涯 スポーツの 振興	総合型地域スポーツ クラブ育成支援事 業	体育振興課	0円 総合型地域スポーツクラブ数 2団体 (平成19年度末現在)
	体育指導委員との 連携事業	体育振興課	1,668千円 新春つれもて歩こう走ろう会やふれあいスポーツ教室を開催することにより、生涯スポーツの振興やニュー スポーツの普及に寄与した。
	スポーツ教室開催 促進事業	体育振興課	250千円 春・秋に各7種目の教室を開催、市民643名が参加 して 生涯スポーツの振興とスポーツ人口の増加に寄与 した。
	学校体育施設開放 事業	体育振興課	12,274千円 地域住民にスポーツの場を提供し、市民のスポーツ振 興 を図る。多くの地域住民が、スポーツを楽しむことが でき、地域の体育振興に役立った。
	市民マラソン開催事 業	体育振興課	10,504千円 10月28日に開催された'07和歌浦ベイマラソンw ithジャズは、9,822名のエントリーがあり、 和歌山市のPR及び地域経済の活性化にも寄与できた。
	各種競技団体との 連携事業	体育振興課	2,116千円 各種競技団体と連携して、生涯スポーツ交流大会や ジュニアサッカー教室、障害者卓球大会を開催する ことにより、青少年の健全育成やスポーツの振興に寄 与した。
	スポーツ拠点づくり 推進事業	体育振興課	平成20年度以降実施予定。
	第70回国民体育大 会開催準備事業	体育振興課	平成20年度以降実施予定。
	各種大会及び合宿 等誘致事業	体育振興課	4,466千円 第11回IAAF世界陸上競技選手権大阪大会に参加する フランス選手団の事前合宿を受け入れたことにより、 青少年の健全育成や国際交流に寄与した。
	スカイタウンつつじ が丘テニスコート整 備事業	体育振興課	平成20年度以降実施予定。
	ナショナルトレーニ ングセンター整備促 進事業	体育振興課	0円 ナショナルトレーニングセンター(セーリング競技) の設置が内定した。

		<p>体育施設耐震化事業</p>	<p>体育振興課</p>	<p>平成20年度以降実施予定。</p>
		<p>体育施設予約システム整備・運用事業</p>	<p>体育振興課</p>	<p>1,523千円 施設の総予約件数のうち約35%が予約システムによるものであり、利用者の増加や利便性の向上に寄与した。</p>

5 行政評価(参考)

＜和歌山市行政評価委員会意見書より教育委員会の評価を抜粋＞

事務事業名	しゃかのこし 車駕之古址古墳整備事業(文化振興課)
◎評価所見・総評	
<p>整備事業としては、国・県の補助金を得て、総額1,044,429千円の事業費で平成19年6月に竣工、開園した歴史・文化施設である。今後は維持管理事業として事務事業が行われるが、公園としての管理と文化財の保存の事業となる。「NPO法人しゃかのこし」での語り部養成講座も予定しているとのことであるが、市内に存在する史跡・文化財等について取りまとめ、総合的・効率的な維持管理・運営を行う必要がある。文化財として貴重なものであるようなので、整備の後の活用を十分に図っていただきたい。</p>	
◎要改善点(具体的に検討すべき点)	
<p>①「金の勾たま出土」は当時ニュースになったが、すでに忘れかけられている。宣伝効果は高いと思うので、多いに利用されてはどうか。</p> <p>②市内に存在する史跡・文化財等について取りまとめ、国・県との連携を深めるとともに、地域文化の市民へのアピールと維持管理についての協力を得る必要がある。</p> <p>③今後、目標にある「観光資源としての活用」の具体化を図られたい。</p>	

事務事業名	博物館運営事業(博物館)
◎評価所見・総評	
<p>市民が博物館に足をむけるためのひと工夫がほしい。「特別歴史講座」の人気を引っ張ってこられないか。歴史講座や体験学習など、老若男女に配慮した企画をすすめているのは評価する。であるが、それが博物館の入館者に直結していないイメージがある。例えば歴史講座の修了者に博物館の案内ボランティアや語り部を担ってもらうなど、地域に身近な博物館になる工夫ができるのではないかと。生涯学習の拠点施設であり、全市民にとって重要な施設ではあるが、緊縮財政下の限られた予算では行政のみで充実することは困難である。</p> <p>また、学芸員の研究も必要であるが、幅広く市民の地域文化の向上に役立つ企画が必要である。特に、市内の歴史、文化を取りまとめ、小中学校への出前授業など、博物館見学との連携を強化する必要がある。子ども達の自由研究の場に、また大人たちの生涯学習のために、展示だけではなく、出前講座や散策等移動博物館として、市民の興味に応える施策を考察されたい。展示の説明は、今は学芸員がしているのだろうが、語り部さんたちと連携し、あるいは養成をし、ボランティアで説明員として活動していただくのもいいのかと考える。</p>	
◎要改善点(具体的に検討すべき点)	
<p>①南海市駅からすぐという地の利を生かし、市外からの来館者のよびこみにも積極的に働きかけをすべきである。「市駅にポスター」という話だったが沿線の駅にもインターネットのページはとも美しく思ったが、パンフレットや市報のデザインももっと目を引くデザインを使ってはどうか。</p> <p>②「資料が語る和歌山の歴史」をテーマに、年12回の展示替えをしているが、入館者が減少している。毎月ごとの展示替えを目標にしているのであれば、回数にこだわらず企画を年度初めに公表し、市民の文化学習に役立つ展示を弾力的に検討してみてはどうか。</p> <p>③県の類似施設(県立博物館・紀伊風土記の丘等)との連携の模索を検討していただきたい。</p> <p>④語り部養成講座や、今すでに活動している語り部さん達との連携とその活用を検討していただきたい。</p>	

事務事業名	博物館施設維持管理事業(博物館)
◎評価所見・総評	
「施設管理に年間35,000千円という金額が妥当かどうかの判断はできないが、常にコスト削減を念頭において厳正な業務の執行を行われたい。	
◎要改善点(具体的に検討すべき点)	
①平素の施設維持管理の実態を把握し、その取り組み姿勢を明確にした上で、真に改修が必要であるのであれば、その必要性和問題点を早急に明確にする必要がある。	

事務事業名	第一特別展開催事業(博物館)
◎評価所見・総評	
「城フェスタ」での和歌山城に関連する第一特別展は、他の博物館からの借用も多くなく、妥当な開催である。公立博物館同士でも借用謝金の要求があるとのことであるが、特別展の開催としては従来の無償貸借の範囲内に止め、コストのかからない形での開催にすべきである。入館者数を意識しているが、維持管理に必要な費用を賄う入館者数を求めるには程遠いと思われるので、コストをかけずに多数の市民に地域文化を認識してもらえよう効率的に開催すべきである。入館者の増強については、小中学校や県内文化財関係団体及びコミュニティセンター等へのアプローチ、ホームページなどを活用し、また市職員の協力も必要である。第二特別展とも共通するが、特別展を企画するのはその時の情勢(例えば今年の城フェスタとか)に合わせていると思うが、その組み立てにストーリー性はあるのだろうか。また、県立博物館や紀伊風土記の丘との連携はどうなっているのか。同じ市内にある施設なので、十分な連携をお願いしたい。来館者の満足度は高いようであるが、新規入館者確保にむすびついていない。魅力的で、素人にもわかりやすい展示企画の工夫が必要。	
◎要改善点(具体的に検討すべき点)	
①費用対効果という点では、入館者数の少なさからいって成功しているとは言えない。にもかかわらず、入館者数の計画はずっと一定で、入館者の増加をめざしているようには見えない。たくさんの展示物を集めなくても、展示の方法の工夫、PRの仕方で意義のある展示会にできないものか検討していただきたい。	
②特別展企画の妥当性と計画の再検討。展示資料充実事業もおこなっており、常設展を中心とした地域文化の認識と啓蒙を図るための対策が必要である。基金も底をつき、さらに一般財源からの予算化に期待できない状況下での知恵と行動が求められる。	
③全国的に有名な資料の鑑賞の機会を提供することも重要であるが、住んでいるまちの歴史・文化財を知ることの方がより重要と思われるので、常設展の充実と広報が必要である。	

事務事業名	博物館振興基金積立事業(博物館)
◎評価所見・総評	
<p>基金をとりくずしているようであり、基金の今日的存在意義が問われる。この事業はもはや目的・意図とはかけ離れていると感じる。資料購入のための取り崩しは最小限にとどめなければならないが、取り崩しが資料購入資金に当てられており、取り崩しが常態化しているのではないか。廃止をして一般財源化をするか、将来のために基金を確保する方策を構築するか、だろうと思う。</p>	
◎要改善点(具体的に検討すべき点)	
<p>①基金のありかた、あるべきすがたを議論されたい。</p>	

事務事業名	展覧会等資料の調査・研究事業(博物館)
◎評価所見・総評	
<p>専門的・学芸員の興味からの調査研究がもちろん必要だが、和歌山市の事業として、市民に還元するような調査が意義として必要である。研究紀要にある所蔵論文などは、どのように貴重であるかどうか市民にわかりやすく知らせることは急務である。一部の研究者のための特別展ではなく、生涯教育の一環として市民に役立つ特別展として欲しい。学会における評価も必要であるが、市民に役立つものでなければ、行政における市立博物館の事業の評価とはならない。</p>	
◎要改善点(具体的に検討すべき点)	
<p>①歴史的文化財等を中心に、生涯教育の一環として市民に役立つ事業の展開を図られたい。</p>	

事務事業名	市史資料管理事業(博物館)
◎評価所見・総評	
<p>『市史』管理に、担当課は熱意を示していないが、博物館の業務の一環として、積極的にとりくむべきではないか。市民に低コストで研究成果が周知できる方法について、具体的にとりくんでいただきたい。「有効な未公開資料の活字化」というのは大きな大切な任務だと考える。早急に検討されたい。</p>	
◎要改善点(具体的に検討すべき点)	
<p>①「和歌山の歴史に関するレファレンス件数が年々増加」とあるが、文化財の保存や博物館運営にとってもプラスな材料であり、専門性の高い回答によって博物館の位置付けも向上するであろうから、やはり市民へのPRIは欠かせない。市史研究の公開方法を検討されたい。</p> <p>②和歌山市の歴史に関する独自の資料や整理及び将来に対する新しい資料の保管・整理に要する博物館の事業としての人員と保管場所等の事業計画を明確にし、今後の対策を再検討すべきである。</p>	

事務事業名	常設展示室整備事業(博物館)
◎評価所見・総評	
<p>常設展示室の整備についての事業であるが、開館以来リニューアルされていないので、来館者特にリピーターの減少となっているとのことである。基金を取り崩し運営の上殆ど費消している現状から、常設展示の全面リニューアルが可能かどうかについて再検討する必要がある。</p> <p>入館者増を図るための方策として、リニューアルしかない、というのではなく、児童生徒を歴史学習の一環として一定の学年に達したら博物館へ、とカリキュラムに組み入れるよう働きかけたり、まだまだ多くの市民が来館していない、という現状も鑑みて、生涯学習の場の提供等、来館者を増やす方策は他にもあると考える。</p>	
◎要改善点(具体的に検討すべき点)	
<p>①全面リニューアルを望まず、現状での工夫による改善ができないかどうか、さらに検討していただきたい。</p>	

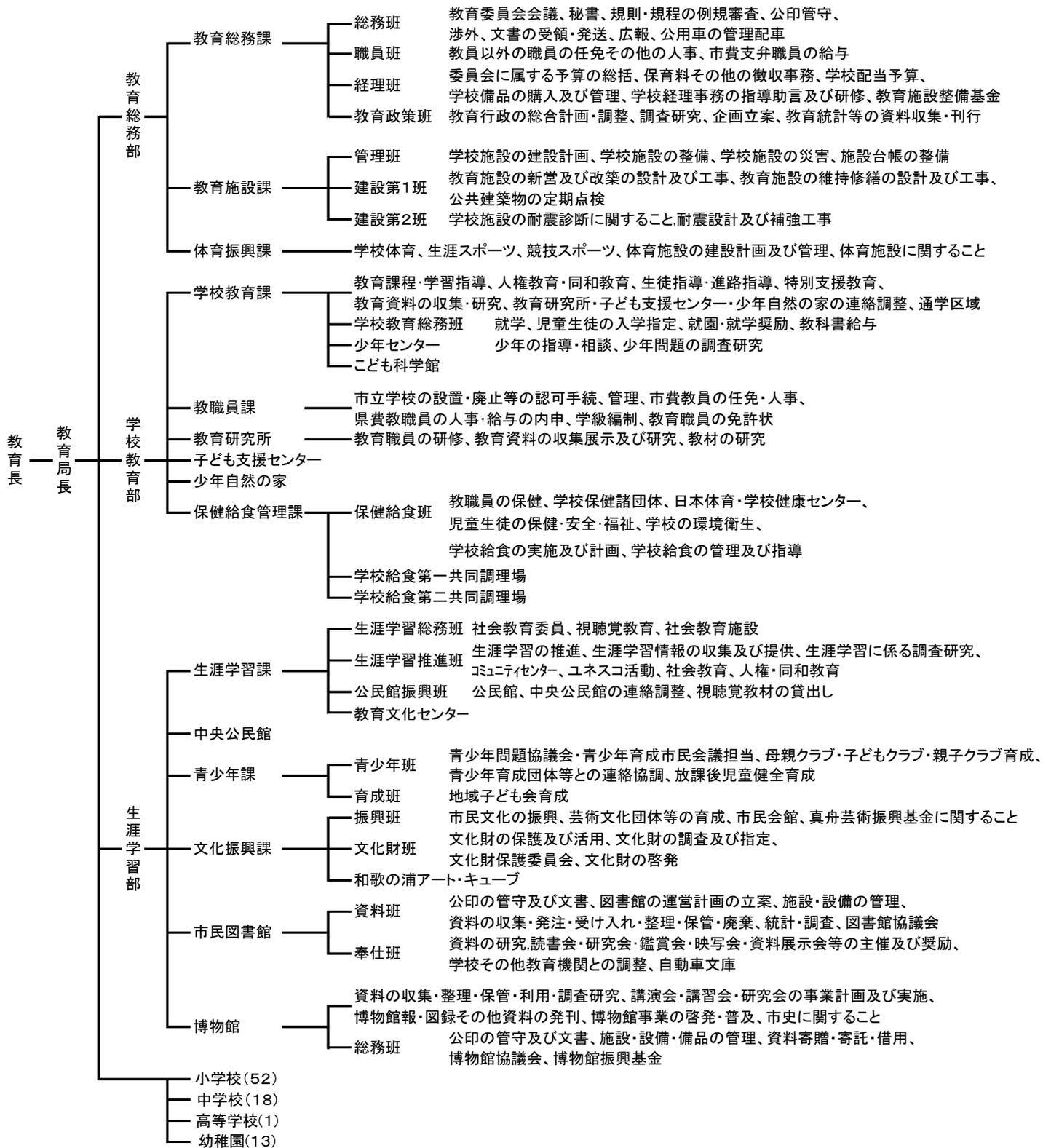
事務事業名	展示資料充実事業(博物館)
◎評価所見・総評	
<p>展示資料の充実は必要であり、継続していく必要はあるが、充実資料を重点化して購入するべきではないか。博物館としてのめざすべき姿がみえづらいように思えるため、どのような観点から展示資料の充実を図っているかわかりにくい。</p> <p>展示資料の購入で、平成19年度は7件380万円の購入であるが、現状では止むを得ない。市外に流出する特に貴重な資料については、篤志家や広く市民に呼びかけて流出を防ぐ努力が必要である。(過去にも前例がある)</p>	
◎要改善点(具体的に検討すべき点)	
<p>①外への働きかけ、PR、展示方法の見直しを図られたい。</p> <p>②流出する虞のある資料についての対策を常に検討し、市及び経済界や市民に訴えるべきである。(個人情報保護を前提)</p> <p>③購入のみでなく、寄贈の働きかけをされている努力は認めるが、展示資料の充実のための手段・方法についての再検討が必要ではないか。</p>	

事務事業名	第二特別展開催事業(博物館)
◎評価所見・総評	
<p>「歴史的に貴重な資料であろうが、それが専門家以外からはどのように貴重で地域文化の創造に貢献するものかみえづらい。展示品のみせかたや、広報・周知の仕方に工夫をこらすべきである。</p> <p>第一特別展とも共通するが、特別展を企画するのはその時の情勢(例えば今年の城フェスタとか)に合わせていると思うが、その組み立てにストーリー性はあるのだろうか。また、県立博物館や紀伊風土記の丘との連携はどうなっているのか。同じ市内にある施設なので、十分な連携をお願いしたい。</p>	
◎要改善点(具体的に検討すべき点)	
<p>①費用対効果という点では、入館者数の少なさからいって成功しているとは言えない。にもかかわらず、入館者数の計画はずっと一定で、入館者数の増加をめざしているようには見えない。たくさん展示物を集めなくても、展示の方法の工夫、PRの仕方で意義のある展示会にできないものか。</p> <p>②来館者のアンケートや反応を検討し、今後の展示についての対策を立てていただきたい。</p>	

事務事業名	特別陳列事業(博物館)
◎評価所見・総評	
<p>「歴史的に貴重な資料であろうが、それが専門家以外からはどのように貴重で地域文化の創造に貢献するものかみえづらい。展示品のみせかたや、広報・周知の仕方に工夫をこらすべきである。館蔵の資料を中心にした展覧会であるが、第一・第二特別展より多い入場者数となっている。学校教育の一環とした企画であることもあるが、博物館の現状や地域文化を再認識するためにも、一般の市民に呼びかけ自治会や各団体の来館を促進することも必要である。</p>	
◎要改善点(具体的に検討すべき点)	
<p>①来館を促進する働きかけを幅広い層に対し行う必要がある。(市民に対する博物館を認識し協力する意識の啓蒙のためにも)</p>	

IV その他

1 教育委員会の組織(平成19年4月1日現在)



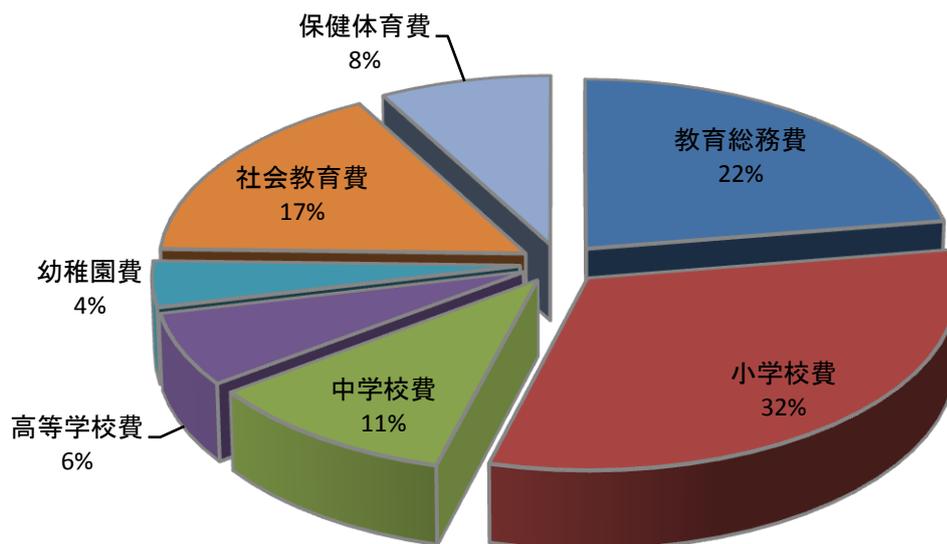
指定管理者制度導入の教育機関施設

市民会館	東部コミュニティセンター
松下体育館	河南コミュニティセンター
市民体育館	河西コミュニティセンター
市民テニスコート	河北コミュニティセンター
河南総合体育館	中央コミュニティセンター
市民温水プール	
市民スポーツ広場	

2 教育費決算額

① 平成19年度教育費決算額内訳

項	金額(千円)	対前年度比増減 (千円)	対前年度 伸び率(%)
教育総務費	2,537,913	175,801	7.4
小学校費	3,570,413	212,447	6.3
中学校費	1,205,110	-303,932	-20.1
高等学校費	735,348	-15,954	-2.1
幼稚園費	460,419	-35,149	-7.1
社会教育費	1,875,437	-94,233	-4.8
保健体育費	900,264	-18,559	-2
計	11,284,904	-79,579	-0.7



② 教育費決算額の推移

単位(千円)

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
教育総務費	2,043,233	2,434,164	2,346,942	2,362,112	2,537,913
小学校費	2,841,898	3,156,560	2,923,616	3,357,966	3,570,413
中学校費	1,382,173	888,823	786,762	1,509,042	1,205,110
高等学校費	756,662	746,538	751,366	751,302	735,348
幼稚園費	800,907	551,218	537,181	495,568	460,419
社会教育費	2,943,034	2,345,283	2,179,831	1,969,670	1,875,437
保健体育費	903,420	940,594	902,205	918,823	900,264
計	11,671,327	11,063,180	10,427,903	11,364,483	11,284,904